

るりこう
寺だより「瑠璃光」

創刊・秋彼岸号 平成18年9月20日
発行責任者 倉松俊弘・護持会総務広報担当 阿部泰治

真言宗 智山派

医王山 阿弥陀院 薬王寺

TEL:0289-65-5315 FAX:0289-64-5339

URL: <http://www.yakuohji.or.jp>

寺だより「瑠璃光」
るりこう

創刊にあたって

薬王寺・円明院

住職 倉松俊弘



薬王寺・
円明院の
檀信徒の
皆様、日
頃より護持興隆にご尽力を頂き
有難うございます。

さて、この度寺便りとして「瑠璃光」を発行することになりました。檀信徒の皆様にも少くも菩提寺を身近に感じて頂くよう寺の行事や、出来事、これからの予定をご報告させて頂きま

す。また、寺に対するご意見なども遠慮なく頂戴し「心安らぎの寺」として日々精進して参ります。これを機会に是非寺の行事に積極的に参加し、仏の教えを学び、人としての道を歩めますようお祈り申し上げます。

最後になりましたが、この発行に際し布施行を頂いた阿部泰治様に深謝申し上げます。

台掌

行事予定のご案内

厳修 予定

「大般若会 併せて 六地藏 開眼法要」

津村宗次郎様より「六地藏尊」のご寄進をいただきました。開眼法要に併せ、銀座2丁目自治会様所蔵の大般若経にて「大般若会」の厳修を11月吉日に予定しています。法要の日程は、決まり次第境内に掲示させていただきます。

開眼法要の功德は「七代天に昇る」とも言われ、参座すれば七代先の先祖までも極楽浄土に生まれ変われると伝えられる千載一遇の法要です。

「除夜の鐘」

12月31日(日) 大晦日

午後11時30分より鐘楼堂にて

住職の打ち始めに続き、ご希望の方に除夜の鐘が撞けます。お守りもいただけますよ。



「元朝大護摩供法要」

平成19年 元旦(祝日・月)

午前0時、午前11時より 金堂にて

ご本尊さまに皆様の幸せをご祈念し、薬師護摩の浄炎があがります。



お知らせ

「大施餓鬼会」のご案内

9月22日(金) 金堂にて

午後1時 ご法話

本山特派布教師

画僧 牧 宥 恵 師

午後2時 大施餓鬼会

本山特派布教師として、仏画の第一人者画僧「牧 宥恵」師をお迎えし、ご法話を戴くことになりました。

是非ともお運びください。

右 牧氏作品



布教師紹介

牧 宥 恵 (まき ゆうけい) 氏

1950年 富山県新湊市生まれ。

75年インド放浪の途上「仏教」を強く意識し独学、仏画の独習に専念。77年京都智積院にて出家得度。78年和歌山根来寺境内に画房を構え、伝統仏画と三昧画の制作にあたる。現在も、個展、NHK学園「写仏」講師などの活動を通じ「自ら考え、行動する」ためのニュー・ブディズムを発信。

代表作 鑽錐不動、般若十六善神(根来寺)阿弥陀如来二十五菩薩来迎図(高野山遍照尊院) ほか多数

「宥恵三昧 西遊舎」より抜粋

<http://www.naxnet.or.jp/~u-kei/>



薬王寺・円明院 本山合同 団参



「薬王寺・円明院 本山合同団参」

6月22日から24日

宗祖弘法大師、興教大師のご生誕を祝した「青葉まつり」を終えた翌週、京都東山七条・真言宗智山派総本山「智積院」に薬王寺・円明院の信徒の方々二十余名。甘露の法雨に包まれる中、ご本尊さまのお導きで無事に本山参拝に行っていました。



南禅寺にて記念撮影



毎年、団参を予定していますので、ご希望の方は寺までお声かけください。



盂蘭盆会 迎え盆・送り盆法要



今年から、13日には「迎え盆法要」16日には、「送り盆法要」を始めました。



「迎え盆法要」とは、仏様をお迎えする前に、ご本尊様にご焼香いただき、お迎えの報告をしてからご自宅にお迎えするという意味です。「送り盆法要」とは、「ご先祖さまをお迎えし、楽しいお盆を過ごすことが出来ました。」という報告をご本尊様にする法要です。時間は、午前10時、午後2時、午後6時に厳修しました。来年も厳修予定ですので、法要の時間に合わせ、ご本尊さまとご先祖様にご焼香いただきたいと思ひます。



16日山門前には、「盆ござ」が敷き詰められました。薬王寺では、伝統の行事ですが、鹿沼市では、近年珍しい風景になってきているようです。「盂蘭盆会の風物詩」として永く後世に伝えていきたいものです。

第2回 寺子屋

7月31日(月)「薬王寺 寺子屋」

は、小学生5名が参加し開催されました。勤行、作務、法話、写仏に写経、そして座禅修行をしました！肝心の「夏休みの宿題」も頑



張った！薬王寺寺子屋修了証（写真入）を一人ひとりに授与して無事に終了しました。毎年7月31日に開催しますので、ご希望の方はご連絡ください。

薬王寺ホームページ オープン!

ホームページにて、お知らせ・行事案内・法要のご報告等をさせていただきます。是非、ご訪問していただき、ご要望・ご感想などメールでお寄せください。

URL: <http://www.yakuohji.or.jp>

一口法話 < おかげさまで > 第1回

何不自由なく王子様として暮らしていたお釈迦様は どうして出家したのでしょうか？

「四苦八苦」という言葉があります。最初の四苦は「生、老、病、死」。すなわち生まれてくるとも、年をとるとも、病気になることも、そして死ぬこともどうしようもないこと。後の四苦は「愛別離苦」愛する者と別れるという苦。「怨憎会苦」憎い者、嫌な人に会ってしまう苦。「求不得苦」欲しい物が得られない苦。「五蘊盛苦」五蘊とは色、受、想、行、識でありこの世界を構成する要素でこれらから苦は成り立つ。という意味です。

つまり「苦」とは、自分でままたらない、自分の力ではどうすることも出来ないこと。それが本当の「苦」であり、どうしたらその苦から逃れられるのかを求めるために出家をしたのです。そして「十二因縁」と「八正道」を悟られました。この世の中自分の思い通りには生きて行くことはできません。自分一人で生きている訳ではなく「生かされている命」なのです。回りのすべての人、そしてすべての生きとし生けるものに生かされている命であることを感じる事、それが真の「生きる」ということなのです。常に「おかげさまで」という感謝の心を持って生活しましょう。 合掌